

## 永遠のエルヴィス

エルヴィス・プレスリー

※国が生んだスーパースター、エルヴィス・プレスリー（1935～77年）についての話題が途切れない。右側さくらが出演する日本テレビ系の連続ドラマ「満開の花」では、エルヴィスが1956年に出た映画「ラブ・ミー・テンダー」が主題歌に使われている。数々のヒット作を手がけてきた脚本の野島伸司は「エンターテインメントとして物語を感やすために、世間で一番目立つソングが必要でした」となどとコメント。麗しく歌うエルヴィスの声が心に染み入る名曲だ。15日には、同曲を収録めた日本企画の最新ベスト



エルヴィスのドキュメンタリー「ザ・サーチャー」より ©2014 Sony Pictures Television Inc

盤が発売される。

9月にはエルヴィスが生前に録音したゴスペルソングに、新たに冥界などを扱ったアルバム「ホエア・ノー・ソング・スタンズ・アローン」の日本盤も出る。

筑のリサ・マリー・プレスリーの歌も交え、親子共演を果たしている。

今日の今日16日には、彼の生涯を追ったドキュメンタリー「ザ・サーチャー」がWOWWで放送される。懐しかった少年時代、ブラックミュージックからの影響、軍への入隊、映画、そして結婚や離婚……。スターの心の扉も丁寧に開かれる。

エルヴィスを知ることであり、名曲の数々を楽しむことであり、米国の大衆文化について学ぶことにもつながる。若い世代にも彼の世界にぜひ触れてほしい。

（坂井幸）